

SSKS 風の子便り

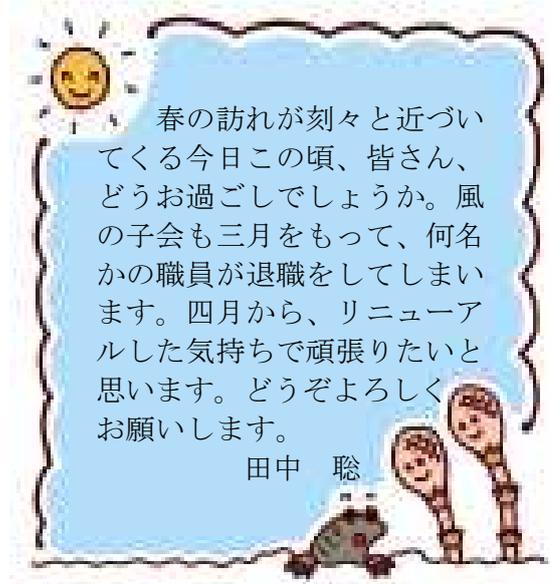
ひとりぼっちの障害者をなくそう



目次

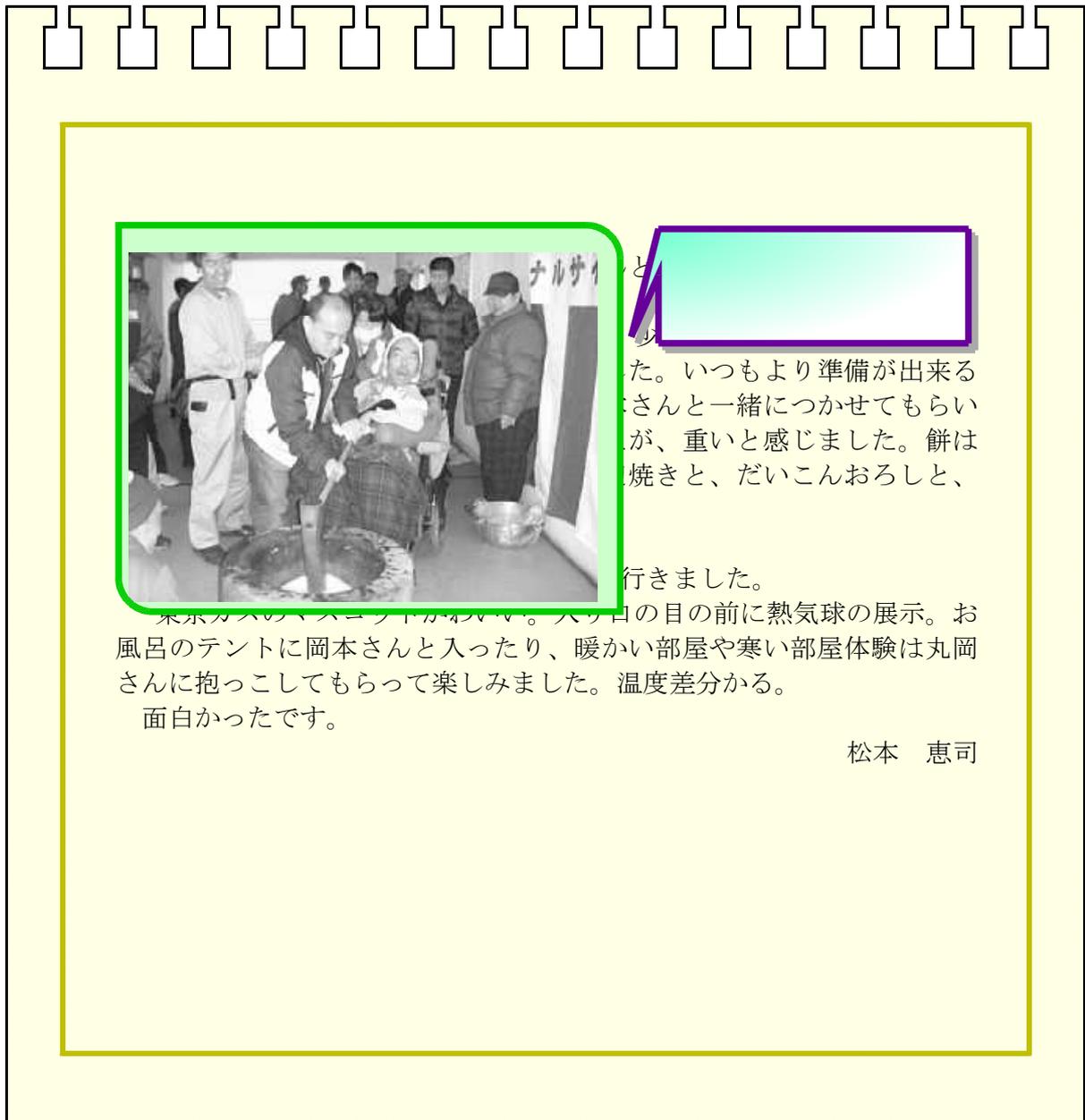
- ☆餅つき大会 2
- ☆新職員紹介 3
- ☆署名・実習所報告 5
- ☆虫めがね 6
- ☆学習会報告 8
- ☆小野塚さん連載 9
- ☆小林さん退職 10
- ☆夕会便り・
スケジュール・寄付のお礼 11
- ☆編集後記 12





春の訪れが刻々と近づいてくる今日この頃、皆さん、どうお過ごしでしょうか。風の子会も三月をもって、何名かの職員が退職をしてしまいます。四月から、リニューアルした気持ちで頑張りたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

田中 聡



いつもより準備が出来る
さんと一緒につかせてもらい
が、重いと感じました。餅は
焼きと、だいこんおろしと、
行きました。

東京ガスのマニフェットが面白い。大サロの目の前に熱気球の展示。お風呂のテントに岡本さんと入ったり、暖かい部屋や寒い部屋体験は丸岡さんに抱っこしてもらって楽しみました。温度差分かる。面白かったです。

松本 恵司

新職員紹介

田中が新職員さんにインタビューをしてきましたので、そのやりとりを紹介文として載せます。

—お名前を教えてください。

山名宗孝（ヤマナムネタカ）です。

—お歳は幾つですか？

山：35です。

—出身地は何処ですか？

山：東京都大田区です。

—趣味は何ですか？

山：ギター（弾けません）、バイク（ツーリング）、温泉巡りで、お勧めの温泉ランキングは、一位、本沢温泉・二位、大沢温泉・三位、鳴子温泉（三カ所とも混浴）です。

—特技は何ですか？

山：パズル解きです。

—好きな野球チームはありますか？又、何処ですか？

山：広島東洋カープです（少しだけ）。

—好きな女性のタイプは何ですか？又、芸能人で例えると誰ですか？

山：永作博美（かわいい系の女性）です。

—好きな食べ物・嫌いな食べ物は何ですか？

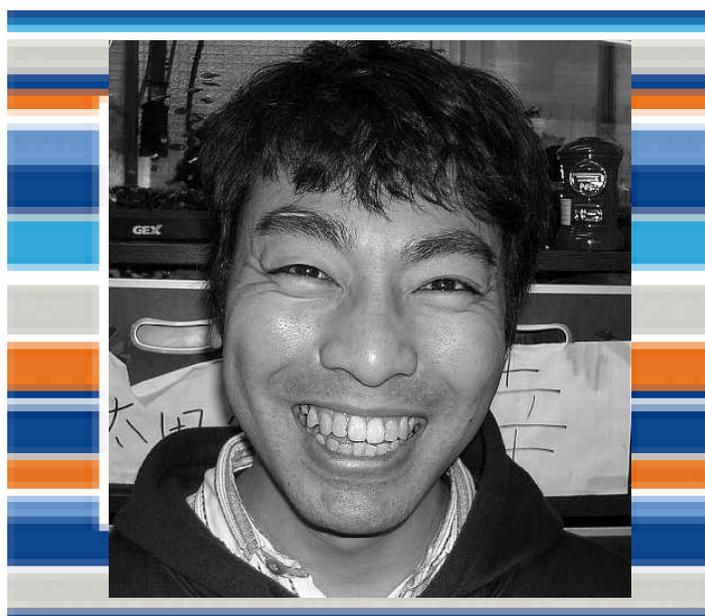
山：好きな食べ物はイタリア料理のペペロンチーノやアラビアータ（料理名が人の名前っぽいから）で、苦手な食べ物は脂っこい物や蚕の蛹の醤油付けです。

—好きなお酒は何ですか？

山：日本酒とワインです。



よろしく
お願いします！





新職員紹介 その2

加入されました新職員さんの紹介として田村がインタビューしてきましたので、カテゴリー別に記載します！

姓名…丸山 泰慶 (マルヤマ ヤスヨシ)

趣味…音楽鑑賞・ギター演奏・映画を見に行く・読書・温泉巡りです。



好きな音楽ジャンル

ブルース・ロカビリー・ロック・ソウルの洋楽です。

ギター演奏は十七歳の頃にバンドを組もうと友達に誘われたのが切っ掛けで、それからは独学で(スコア譜を買ったりして)覚えました。

当時コピーしていたのは、『BRAHMAN』や『RANCID』と言ったパンクバンドです。



好きな映画はどちらかと言えば洋画で、ドキュメンタリー物が好きです。

好きな本のジャンルは小説・自己啓発物で、好きな小説作家は『伊坂幸太郎・高橋歩』、好きな小説のジャンルはミステリー・感動系です。

特技…小・中・高とバスケットに入っていたというのもあり、バスケットが得意です。あとは陸上（ハードル・走り高跳び）・水泳です。バスケットに入ろうとした切っ掛けは『SLAM DUNK』でした。

好きな飲食物…ネバネバ系（とろろ・納豆・オクラ等）・日本酒・赤ワイン・チゲです。

アルコール失敗談…寝過ごし・道路で寝てた。

資格等…自動車免許・ビジネス能力検定（三級）・認定心理士・英検（五級）

嫌いな飲食物…椎茸（丸ごとのみ）・泡盛です。

自慢…過去に仕事柄、沢山の芸能人に会ったことがある。

意気込み…初心者ですが、これから頑張りたいと思います。

これから宜しくお願い致します！

きょうされん

第三十三回国会請願署名・募金運動 経過報告

先月の会報で皆様にお願いました国会請願署名ですが、多くの方のご協力により沢山の署名と募金を頂いております。ここで、現在の署名数と募金額をご報告いたします。

二月十五日現在
署名数・・・三十九筆
募金額・・・四千三百円

署名用紙を実習所にご郵送された皆様、再度署名にご協力下さった皆様、募金を下さった皆様へこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございます。
なお、署名は四月下旬まで行っておりますので、よろしくお願いいたします。

※署名用紙はまだ沢山ございますのでご希望の方はご連絡下さい。



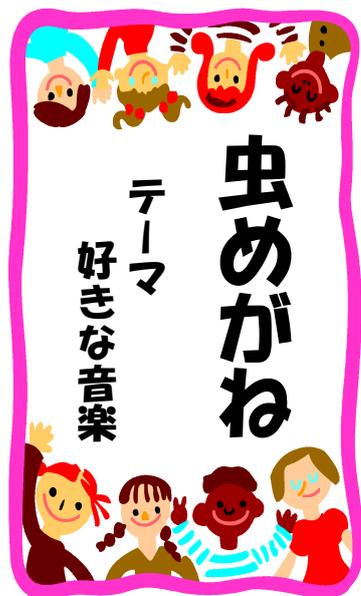
署名担当 丸岡秀明・岡本裕介

実習所 報告

早いものでもうすぐ二月。昨日TVで節分の行事である、恵方巻きのことをやっていました。来年度は風の子の職員が大幅に代わるので、新しい職員候補が実習に来ていてとても賑やかです。私のパソコンが新しくなって、この実習所使用からは新しいパソコンを使っています。まだ慣れないので速くは打てませんが頑張ります。
太田 圭子

牛乳パックをちぎったり、和紙をすいたり、箸の袋入れをやりました。他にも「外に出よう」のパンフレット折りもやりました。二月十二、十三日は実習所が使えなかつたので、ヒューマンぷらざ七階の竹芝小ホールで活動しました。ゲームやカラオケをして楽しみました。また、職員募集をしているので、たくさんの方が実習にきました。

福島 基予子



僕が好きな音楽アーティストは、小学生時代は従兄弟の影響で、アイドルグループの「光ゲンジ」や「少年隊」が好きでした。



その他には、中学生から昨年まで「CHAGE&ASKA」が好きで、五年間ぐらいファンクラブに入会をしていました。ですから、昨年の今頃の活動休止には衝撃でした。

ニューシングルやアルバムが発売したら、CDショップへ行き買い求めていて、一回ライヴコンサートに行ったこともありません。そのくらいチャゲアスが好きでした。

二人の復活を願っています。



その他でいえは母と一緒に「モーツァルト」や「シューベルト」などのクラシックをよく聞いています。僕たちが生まれる前から、音楽が生まれていたことに驚きです。



ちなみに、僕はこの前母と一緒に、風の子会の副会長でもある、岡本明さんが出演しているクラシックコンサートへ行って来ました。

満員のお客様で曲の終わりごとに拍手のオンパレードでした。僕も、普段以上にフィーバーをしました。音楽は最高！

田中 聡





好きな音楽と聞かれてまず思いつくのはダンスミュージックだ。90年代初め、世の中がまだバブルに浮かれていた頃、街にはディスコテイクが溢れていた。マハラジャやヴェルファーレ、特に好きなジャンルはユーロビートだ。コンピュータで打ち込む速いテンポのシンセの音がすごく心地よかった。当時のジャパニーズポップも少なからずユーロビートの影響を受けていたように思う。90年代といえばカラオケブームの全盛期だ。当時学生だった僕は毎夜のようにカラオケボックスに繰り出し、歌い、飲み、騒ぎ、暴れたものだ。今でも90年代の曲を聴くと、あの頃のどんちゃん騒ぎを思い出す。



それとは対照的に、歌詞面では小田和正の詩が好きだ。中学の頃に好きな人のことを思いながらオフコースを聴き、せつなく胸が苦しくなったあの感覚は今でもよく覚えている。悩んだり迷ったりしているときに、誰かの曲を聴き涙が止まらなくなることがある。その曲の歌詞のワンフレーズが、僕の心をダイレクトに貫くのだ。涙を流し、「いつまでもとどまってもしょうがない。とにかく一歩進んでみよう」と思うのだ。人の心の琴線に触れられる言葉を紡ぎ出せる人を、本当に素晴らしいと思う。いつか、そんな詩を書くことができたらと願っている。

小野塚 航



MAKO'S FAVORITE SONG

日本のかっこいい音楽が好き。一番好きなのはS.M.A.Pです。何故かと言うと、拓哉が居るからです。一番好きな歌は「世界に一つだけの花」です。

右田 磨子

学習会報告

今回の学習会報告は1月下旬からの一ヶ月間の報告。まず20日の前半は間近に迫った冬季オリンピックの紹介。今年はカナダのバンクーバーで開催される。日本人の有力選手やどんな競技が行われるかを紹介してもらおう。後半はパターゴルフ。作業所に簡易グリーンを設置してみんなでパターを楽しむ。初めての試みなのでみんなたいへん盛り上がる。中には連続カップインを決めるメンバーもいた。僕の結果は・・・聞かないで下さい。

27日はその週で会を退職する矢代さんを囲んでみんなで団欒。前半はメンバーがそれぞれに矢代さんに何か尋ねるQ&Aコーナー。楽しかった思い出や今後の矢代さんについてなどあれこれと聞く。思い出話に湧くと本当に去ってしまうのだなとつい感傷にふけりそうになる（それは僕だけだったのかもしれないが）。後半は男子メンバーと矢代さんの“プチお見合い”をする。男子メンバー一人一人が順に3分という制限時間内で矢代さんとお見合いをする。今までの感謝を語るメンバーやいつも通りの会話を楽しむメンバー、中には熱いラブコールを本気でしているメンバーもいて、楽しく最後の時間を過ごした。

明けて2月、第1週はちょうど節分と日が重なったため、みんなで節分を行う。前半はメンバーそれぞれに鬼の面を作る。一人一人が個性的な鬼を描いていた。後半は豆まき。1メートル四方くらいの大きさの紙に描いた鬼めがけて豆をぶつける。日頃のうつぶん晴らしとばかりにいきおいよく豆を投げるメンバーもいた。

2週目の10日はビーナスフォートに新しくできたアウトレットを見学しようということで、みんなでお出かけ。レインボーブリッジを渡ってお台場を抜けてビーナスフォートに。各ペアごとに分かれて食事、そしてウインドーショップ。僕のグループは食後にアウトレットを軽く回り、その後ゲームセンターを視察。メダルゲームに熱く燃えた午後のひととき。

次回は17日分からの報告です。予定ではバンクーバーオリンピック観戦となっています。

担当・小野塚



ボランティアさん募集中!

風の子会では常時ボランティアさん募集中です。

食事介助やトイシ介助、作業やレクリエーションなど、手伝いつつ一緒に楽しんでくれると嬉しいです。

男女問わず、初心者大歓迎でお待ちしております。

お気軽にお問い合わせください!



わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第24話 4年目 ～ 寮生活における転換点 ～

大学生活4年目。部屋割り会議を経て僕はそれまで2年間住んでいた部屋を離れて別の部屋へと移った。4年目のパートナーはGというちょっと変わった2年だった。都寮連というなんだかよくわからない組織に参加し、夜じゅう帰ってこない事も少なくなかった。勤勉かというところでもなく、昼間も授業に行かずに部屋でゴロゴロしていたり、夕飯は赤旗を読みながらやたらと時間をかけて飯を食っていたり、とにかく何のためにここにいるのかわからないような奴だった。それでも何とか会話は成立したし、相性も悪くはなかったので、1年間問題なく共に暮らすことはできた。

4年目というのは、普通は卒業を控える年のはずである。当たり前だ。けれども僕がそれまでの3年間で取得した単位数は、卒業には遠く及ばないような数だった。それは、これからの1年間で死に物狂いで授業に出て単位を取り、同時に卒論執筆の準備も進めなければならないという過酷な1年の始まりをも意味していた。「もしかしたら単位が足りずに留年してしまうかもしれない」という危機感はとりあえず頭の隅の方に追いやり、けれど常に意識の奥に強迫観念としてべったりと貼り付いているのを感じながら始まった4年目だった。

そんな僕の状況と符合するかのよう、4年目の僕の部屋はそれまでの騒がしくて賑やかだった溜まり場とは打って変わって静かな部屋となった。親しかった先輩は卒業して寮を離れていき、しょっちゅう部屋に来ていた後輩たちはそれぞれ自分たちの部屋を持たせよう、僕の部屋に来る回数は徐々に減っていった。溜まり場だった頃は「たまには一人でいられる時間も作らせてくれ！」と叫びたくなるときもあったが、部屋が突然静かになってしまうと、それはそれで戸惑ってしまうものだ。しかし、勉学に励む（あるいは励まなければならない）環境を得なければならないという意味では、4年目の自分の部屋が静かさを取り戻したというのは、かえって都合よかったのかもしれない。

部屋が静かになった。次のステップは、僕が自身の生活リズムを改善することだ。それまでの僕は、夜通し遊び、明け方に寝て、夕方に起きてまた夜遊びに耽るというサイクル—まるで芸人か漫画家か、あるいはニートかひきこもりか—が体にどっぷりと染みついていた。そんな自堕落さを引きずってはいは、卒業はおろかまともな人間にすら戻れない。ではどうやって改めるか。とにかくまずは夜型のサイクルを朝型に戻すことが肝心だ。しかしいきなり変えるといっても、それまで夜遊びを満喫していた奴がいきなり夜に布団に入って寝られるはずはない。

僕の4年目は、自身もたらした様々なツケを一気に支払わなければならないという、自業自得であり切実さを抱えた状況で始まった。

～ 第25話につづく ～

小林高史さん退職

～涙を飲んで～



2年間風の子会職員として頑張ってくれていた小林高史さんが、この度退職することとなりました（T_T）

いつも優しい笑顔で接してくれていた小林さん。別れはとてつらいですが、新たな門出を祝うと共に、小林さんの夢を風の子会一同、応援したいと思います！

今までご苦労様でした！いつでも遊びに来て下さいね
（^0^）ノシ

元々は児童養護施設で働こうと思っていましたが、中々仕事を見つける事が出来ず、偶然に風の子と出会い働く事になりました。これも運命と言うべきでしょうか。



私は風の子に来るまで、障害を持つ人と接した経験はほとんどありませんでした。働き始めた当初は驚きの連続だったと思います。

そして少しずつ気づいて来たことは、人間はどんな状況でも生きることを望むということ。そして、生き甲斐を持って生きようとする事です。

風の子の職員として、私には何ができたのか。思い返すにはあまりにも短い時間しかありませんが、少しでも楽しく過ごせた方がいらっしゃるなら嬉しく思います。

私自身は風の子で出会えた人々ととても充実した時間を過ごさせてもらいました。これからもよろしくお願いします。



～ PS ～

希望していた児童養護施設職員として頑張ります。

小林高史



夕会便り



一月十六日

【外に出ようのキャッチコピー】
今日は五月十六日に開催される外に出ようのキャッチコピーを考えました。二十弱の候補の中から絞りに絞って三つにしました。『十
七回目外に出ようよ中央線』・『中
央線、赤い電車でさあ行こう』・『車
イスみんなで押そう中央線』です。

一月二十三日

【今後の風の子の活動について】
『風の子の魅力とは何か？』『なぜメンバーが減っているのか？』『どうしたらメンバーが増えるのだろうか？』という三つのテーマを挙げ、話し合いました。

二月六日【送別会について】

『送別会は職員任せで良いのか？』や『何をやるか』等を話し合いました。

二月十三日【職員送別会について】

何を買ってプレゼントするかを話し合いました。三つに候補を絞りました。

田村 亮彦

スケジュール

2月21日（日）防災訓練

2月22日（月）代休

2月26日（金）運営委員会

「障害者は外に出よう！」

日時 5月16日（日）

9時～16時半頃

*雨天延期の場合は5月23日（日）

場所 中央線（東京～吉祥寺）

*詳細は来月号に掲載します！！

寄付のお礼

寄付を下された方

松本 成子様
井出 義文様

この場を借りて
御礼申し上げます。

～連載休載のお知らせ～

好評頂いている和栗頭太郎さんの連載「シベリア出兵秘話」ですが、今月号も都合により休載させていただきます。



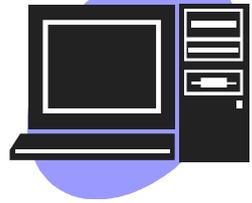


最近（冬至が過ぎて）日の出、日の入りが徐々に遅く成ってきたような気がします。（五時前後ではうつつらとながらもまだ明るいので）やはり冬至を過ぎると季節の変わり目だなと感じます。でもまだまだ頬にあたる風は冷たく、春が待ち遠しいです。

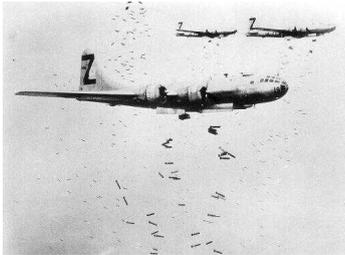
三木 直人



私の性格はかなりのオッチョコチョイ、それがパソコンをやっていると良く解る。足でキーボードを打っているときは麻痺があるのも、打ちたい字にカーソルを合わせたつもりでも、気が付くと横や上下に行っていて、違う字を打ってしまったことが良くあったが、手で打つようになったら打ちたい字を、通り越してしまうことが多くなってしまった。



太田 圭子



三月といえば、春がやっとやって来た、行楽の季節で皆さん楽しみにしていることでしょう。しかし、私には、どうしても皆さんのようには春を楽しめないのです。その理由は、あの忌まわしい昭和二十年三月十日「陸軍記念日の日・東京大空襲」。何しろ今までにないB29六百機が、次から次へと延べ六時間にわたり、山手線外回り一体を、焼夷弾で焼き尽くしてしまつた。夜中と言うのに空も周りも一面真っ赤つつかで、まるで真昼のような明るさで、何もかもが真っ赤に反映して見える不思議な恐ろしい光景でした。この一晩で十万人の人が亡くなったのです。それを思うと私は行楽に行つて浮かれる気にはなれません。

和栗 顕太郎

ひとりぼっちの障害者をなくそう
特定非営利活動法人・風の子会
 ~定価40円~

編集者
 太田 田中 野田
 小田 久野 塚
 佐久間 正圭
 三木 直亮
 幸木 史彦
 和栗 顕太郎

太田 田中 野田 塚
 小田 久野 塚
 松本 史彦
 右藤 史彦
 吉田 史彦
 久摩 恵
 代子 司聡航稔

編集人：【高浜生活実習所】
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区砧6-26-21

